


平成29年度「国際常民文化研究機構」(B)共同研究(奨励) 申請書
 (文部科学省 共同利用・共同研究拠点)

研究課題名		昭和戦前期の青年層における民俗学の受容・活用についての研究	
申請者氏名 (研究代表者)		(ふりがな) 丸山泰明 	所属機関 職 専門分野 天理大学 准教授 民俗学
研究組織	氏名	所属機関・職・専門分野	分担課題
	丸山泰明	天理大学・准教授・民俗学	代表、昭和戦前期の「青年」「民俗学」「郷土」をめぐる社会的状況についての調査。女子青年団の調査。
	小熊誠	神奈川大学・教授・日本民俗学	日本常民文化研究所所蔵資料の調査。
	室井康成	建設資材販売会社・社員・民俗学、近現代東アジア民俗思想史	青年団にかかわる民俗学関連の出版物・新聞雑誌記事の調査。柳田國男・田澤義鋪と青年教育・郷土研究のかかわりについての調査。
	小林光一郎	神奈川大学・特別研究員・日本民俗学	日本青年団を介した地方の青年とアチックミュージアムのネットワークについての調査。日本青年館職員であり、アチックミュージアムの研究員でもあった大西伍一についての調査。
	木村裕樹	天理大学・非常勤講師・日本民俗学	大日本連合青年団郷土資料陳列所の旧蔵資料の収集・寄贈の過程、および国立民族学博物館における現状についての調査。青年による生業の研究・改良についての調査。
黛友明	大阪大学大学院・大学院生・日本民俗学、民俗芸能研究	地方の青年にとっての民俗芸能の意味についての調査。工学院大学図書館竹内芳太郎コレクション所蔵の「郷土舞踊と民謡の会」記録ノートの調査・整理。	